

こんにちは！ 血液浄化療法室です

特殊な透析も、出張透析もおまかせ！
患者さんに寄り添い、
安心・安全な透析治療を行います

血液浄化療法室は、主に慢性腎不全・急性腎不全の透析治療を行っています。当部署では血液透析以外にも様々な血液浄化療法を行っています。白血球吸着・血漿交換・腹膜透析等、腎不全に対する治療のみではなく、潰瘍性大腸炎等に対応した特殊血液浄化療法も実施しています。多様な治療が可能であり、当院の役割である救急医療においても、他施設で維持透析を行っている患者さんが急性疾患により緊急入院となった場合の受け入れについて迅速に対応しています。

ベッド数は30床で、そのうち2床はコンソールという移動可能な透析機器で出張透析ができます。出張透析により感染症の患者さんや、移動することができない重症の患者さんをICUや病棟の重症個室等で透析することができます。

また、医師・看護師・臨床工学技士・ナースエイド・コンシェルジュがチームで安心と安全を目指し協働しています。常にスタッフが患者さんの側におり、目を向け、安心して治療を受けられるよう努めています。



血液浄化療法室

STAFF'S VOICE

副院長／腎臓内科 主任診療部長／
透析部長 山下 裕



互いを尊重し、力を合わせて、
安全な透析治療の提供を
心がけています

いつも地域の先生方・スタッフの皆様方には大変お世話になっております。病院II期棟 3階にある血液浄化療法室（通称：透析室）には、医師・看護師・臨床工学技士等の多職種が、血液透析を含めた血液浄化療法（腹膜透析、血漿交換など）を安全に提供できるよう、互いを尊重してチーム医療を行っています。毎朝、多職種参加の透析カンファレンスを行い、情報共有と業務改善に努めていますので、機会があれば是非見学にいらしてください。

もっと！知りたい

MINATOPICS

12/28



職員提案制度の
表彰式がありました

患者さんへのサービス向上や業務の効率化を目的に、職員から提案を募りました。その結果、放射線治療時の伏臥位専用固定具の作成、プログラミングを取り入れた契約事務の効率化など4案が表彰されました。

2月



「患者の権利と責務」を
見直しました

ハラスメント防止対策の強化等を目的に「患者の権利と責務」を見直しました。見直しを機に、患者さんの目に少しでも留まるよう、院内ポスターをイラストが入ったポスターにしています。

2月



中山高士研修医が学会発表で
優秀演題賞を受賞

久留米市で行われた第58回九州外科学会の研修医セッションにて、当院研修医の中山高士医師が「術後にSIADH、Refeeding 症候群を合併した上行結腸癌の1例」を発表し、優秀演題賞を受賞しました。



病院食の食器を
リニューアルします

見た目からも食事をより楽しんでいただければと、汁椀と湯呑みを明るく色の食器にリニューアルします。入院中の食事の時間が少しでも楽しいひと時となれば幸いです。